

第 2 次豊橋市環境基本計画

前期総括報告書

平成 2 8 年 8 月

目 次

1. 第2次豊橋市環境基本計画の総括について	1
2. 取り組みの目標の進捗状況	2
3. 各環境目標の総括	
【環境目標Ⅰ】低炭素社会の実現により保全する地球環境	3
【環境目標Ⅱ】多様な生物が生息し、人と共生する自然環境	5
【環境目標Ⅲ】資源を大切にし、循環を基調とする社会環境	7
【環境目標Ⅳ】健全で快適な生活環境	9
【環境目標Ⅴ】環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境	11

第2次豊橋市環境基本計画の総括について

本市では、豊橋市環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成23年3月に「第2次豊橋市環境基本計画」を策定し、計画の基本理念である「地球の未来 ここから始めよう」の実現に向け、環境の保全や自然との共生に関する様々な取り組みを行ってきました。第2次豊橋市環境基本計画は、平成32年度が目標年度となっており、策定から5年が経過したため、前期計画の総括を行いました。

取り組みの目標の進捗状況

環境目標		指 標	基準値A (H21実績)	H32年度 目標値B	H27年度 実績値C	進捗率 (C-A)/(B-A)×100	進捗状況 ※
I	低炭素社会の実現により保全する地球環境	①エコファミリーの登録件数[世帯]	1,493	増加	1,463	<0.0%	△
		②太陽光発電システム設置量 (住宅、公共施設合計、累計) [kW]	9,449	20,000	34,567	>100.0%	◎
		③1日当たりの公共交通機関利用者数[千人/日]	76	77	79	>100.0%	◎
		④電動アシスト自転車普及台数[台]	845	増加	620	<0.0%	△
II	多様な生物が生息し、人と共生する自然環境	①自然環境の保全啓発活動への参加者数[人]	3,487	増加	1,136	<0.0%	△
		②外来魚を駆除した池数(累計)[池]	6	30	30	100.0%	◎
		③森林保育作業の参加者数[人]	56	増加	80	>100.0%	◎
		④憩いの場を整備したため池数(累計)[池]	28	29	29	100.0%	◎
		⑤環境保全型農業を実践している農家の割合[%]	18.2	20.0	30.6	>100.0%	◎
		⑥市民1人当たりの都市公園面積[m ²]	9.77	10.00	10.02	>100.0%	◎
III	資源を大切に し、循環を基調とする社会環境	①市民1人が1日出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない。)[g]	790	727	746	69.8%	○
		②再生家具等の展示・販売会開催数[回]	3	増加	3	0.0%	△
		③リサイクル率[%]	17.1	28.0	18.0	8.3%	△
		④530運動の参加者数[人]	180,000	増加	201,000	>100.0%	◎
		⑤雨水貯留槽設置補助件数(累計)[件]	376	増加	699	>100.0%	◎
IV	健全で快適な生活環境	①環境基準達成率(大気)[%]	93.3	増加	94.4	>100.0%	◎
		②工場・事業場への大気浄化啓発件数[件]	54	増加	74	>100.0%	◎
		③環境基準達成率(水質)[%]	90.6	増加	89.6	<0.0%	△
		④工場・事業場排水検査件数[件]	240	増加	161	<0.0%	△
		⑤下水道普及率 (公共下水道、地域下水道合計)[%]	78.8	82.3	80.1	37.1%	△
		⑥景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数(累計)[件]	192	増加	292	>100.0%	◎
		⑦公共施設における緑のカーテン設置箇所数[箇所]	28	増加	128	>100.0%	◎
V	環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境	①地球温暖化対策出前講座の実施回数[回]	5	増加	15	>100.0%	◎
		②環境イベントの参加者数[人]	10,000	増加	9,300	<0.0%	△
		③地域資源回収実施団体数[団体]	351	増加	382	>100.0%	◎
		④文化財関連イベント・展覧会等の参加者数[人]	61,840	増加	61,911	>100.0%	◎
		⑤教育文化施設1日当たりの利用者数[人]	4,241	増加	4,050	<0.0%	△

※進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率50%以上100%未満 △…進捗率50%未満

環境目標 I

低炭素社会の実現により保全する地球環境

基本施策

- I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進
- I-2. エコモビリティライフの推進

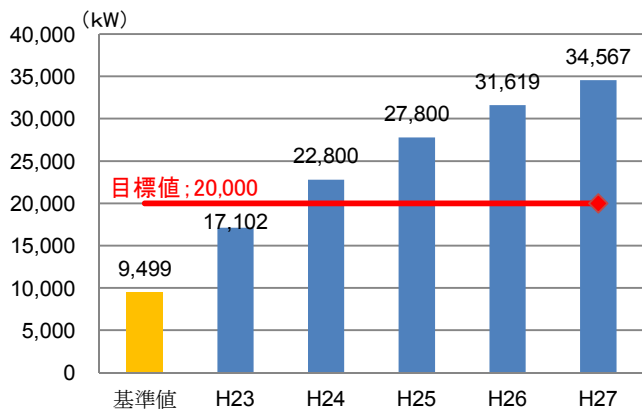
▼目標

地球温暖化対策を進め、二酸化炭素の排出が少ない低炭素社会を実現することにより、恵まれた環境を将来の世代に継承し、地球環境の保全に寄与することを目指します。

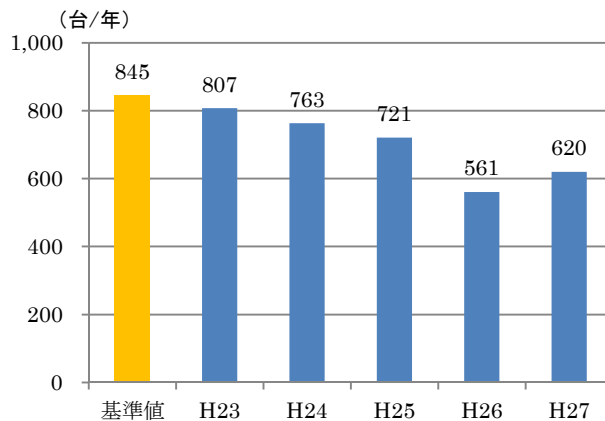
取り組みの目標	基準値	目標値	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況
エコファミリー登録件数[世帯]	1,493	増加	2,148	2,096	1,945	1,534	1,463	△
太陽光発電システム設置量 (住宅、公共施設合計) [kW]	9,449	20,000	17,102	22,800	27,800	31,619	34,567	◎
1日当たりの公共交通機関利用者数[千人]	76	77	75	75	77	77	79	◎
電動アシスト自転車普及台数[台]	845	増加	807	763	721	561	620	△

※進捗状況：◎…進捗率 100%以上、○…進捗率 50%以上 100%未満、△…進捗率 50%未満

太陽光発電システム設置量（累計）



電動アシスト自転車普及台数



■環境目標 I の総括評価

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

■今後の取り組み

地球温暖化対策を進めるためには、市自らの率先的な取り組みのほか、市民・事業者と連携しながらそれぞれの役割を果たすとともに、変化する社会情勢に的確に対応していく必要があります。今後は次のような取り組みを進めていきます。

- ・ 公共施設及び住宅の省エネ化推進や次世代自動車等の普及促進
- ・ 太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大と支援
- ・ 中島処理場でのバイオマス資源活用事業の推進
- ・ 地域の実情にあわせた公共交通の確保及び利用促進
- ・ 自転車利用の環境整備や安全利用の促進等による自転車活用の推進

▼取組状況

I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「エコファミリーの登録件数」については、環境部各課の補助などと連携し、エコファミリー世帯への登録を促すことで順調に登録件数を伸ばしていたが、平成 27 年度は各種補助件数の減少の影響により、エコファミリー登録件数も減少した。
- ②「太陽光発電システム設置量（住宅、公共施設合計）」については、固定価格買取制度など国の再生可能エネルギー導入促進策もあり、住宅用の太陽光発電の設置が大幅に進んだ。

【具体的な取組の実施状況】

- ・環境配慮型のごみ収集車の導入事業において、収集車の更新時にハイブリッド車を導入するなど、環境へ配慮したごみ収集を実施することができた。
- ・エコファミリー制度の実施事業においては、エコファミリー登録が太陽光補助金等の交付や節電チャレンジキャンペーン等の参加の条件となっていることから、補助金申請者やキャンペーン参加者の増加に伴い、登録件数も大幅に増加し、市民の環境に対する意識啓発を進めた。
- ・省エネ型の道路照明灯・公園照明灯の設置事業において、平成 26 年度より LED 街灯の設置を開始し、H27 年度までの 2 年間で道路照明灯では 414 基、公園照明灯では 30 基を LED 街灯へ切り替え、省エネ化を図った。
- ・公共施設における環境配慮型建築の推進事業において、施設改修時に積極的に省エネ型の LED 照明化を進めた。また、再生可能エネルギーの太陽光発電設備を平成 23 年度からの 5 年間で 9 箇所を設置したことに加え、木造建築物の建設により低炭素化を図った。

I-2. エコモビリティライフの推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「1 日当たりの公共交通機関利用者数」は、公共交通全体で利用者が増加したため、目標を達成した。
- ②「電動アシスト自転車普及台数」は、補助制度開始（平成 22 年度）から 6 年が経過し、普及延べ台数は約 4,300 台となったが、普及に一定の落ち着きが生じてきたことから、徐々に件数が減少してきた。

【具体的な取組】

- ・総合交通計画（都市交通マスタープラン）を策定するとともに、モビリティマネジメントや公共交通利用促進イベントの実施、「地域生活」バス・タクシーの運行など、公共交通の利用促進を図った。
- ・エコ通勤制度を導入し、市職員の通勤における自動車利用の抑制を推進するとともに、事業者にも取り組んでもらうよう自転車通勤促進セミナー等により啓発を行った。
- ・自転車の利用を促進するため、市民の意識啓発に努めるとともに、自転車歩行者道の設置や自転車通行空間の整備等を行った。

環境目標Ⅱ

多様な生物が生息し、人と共生する自然環境

基本施策

Ⅱ-1. 生物多様性の保全

Ⅱ-4. 農地の保全

Ⅱ-2. 森林の保全と利用の促進

Ⅱ-5. 水と緑のネットワークの充実

Ⅱ-3. 河川・海岸・ため池の保全

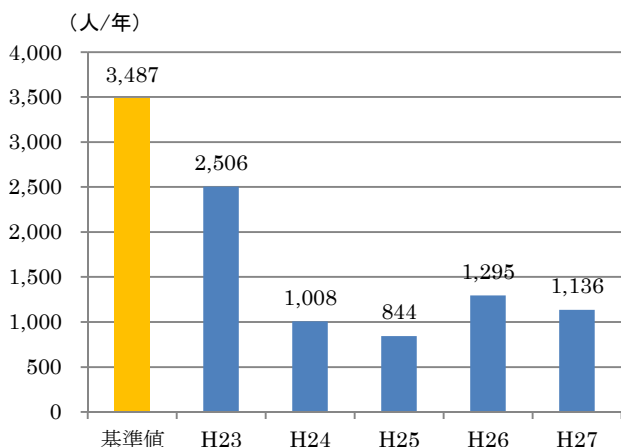
▼目標

私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらすこの自然環境を、かけがいのないものとして将来にわたって保全し、人と自然が共生できる社会を目指します。

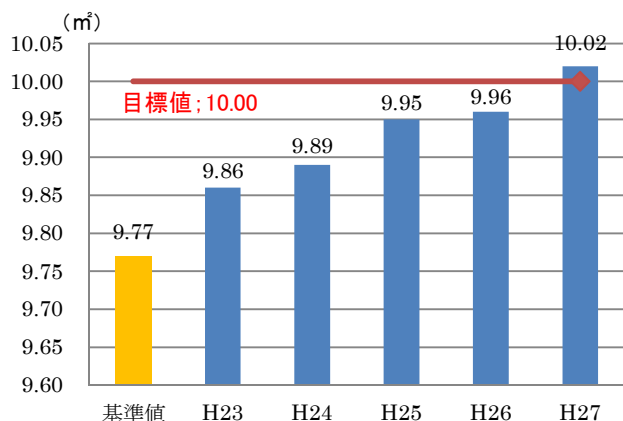
取り組みの目標	基準値	目標値	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況
自然環境の保全啓発活動への参加者数[人]	3,487	増加	2,506	1,008	844	1,295	1,136	△
外来魚を駆除した池数[池]	6	30	15	19	23	25	30	◎
森林保育作業の参加者数[人]	56	増加	114	100	114	101	80	◎
憩いの場を整備したため池数[池]	28	29	29	29	29	29	29	◎
環境保全型農業を実践している農家の割合[%]	18.2	20.0	27.3	28.1	28.4	30.41	30.55	◎
市民1人当たりの都市公園面積[m ²]	9.77	10.00	9.86	9.89	9.95	9.96	10.02	◎

※進捗状況：◎…進捗率100%以上、○…進捗率50%以上100%未満、△…進捗率50%未満

自然環境保全活動参加者数



市民1人当たりの都市公園面積



■環境目標Ⅱの総括評価

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

A

■今後の取り組み

市民の生態系の保全に対する意識を高め、自然環境の保全と生物多様性を推進していくには、環境教育、啓発活動及び自然環境保全対策を継続するとともに、自然とのふれあいの場の確保やふれあう機会を提供することが重要です。こうしたことから、今後は次のような取り組みを進めていきます。

- ・生物多様性の保全と外来生物対策
- ・継続的な森林整備の実施
- ・市民が気軽に自然とふれあえる水辺環境の保全
- ・耕作放棄地対策と優良農地の確保
- ・自然とのふれあいの場を確保するための取り組みの実施

▼取組状況

Ⅱ-1. 生物多様性の保全

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「自然環境の保全啓発活動への参加者数」は、小学校訪問授業数が伸び悩んだことにより、目標には至らなかった。
- ②「外来魚を駆除した池数」は、ため池施設点検や工事に伴う池干しの際に外来魚駆除を実施したため目標値に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・平成 23 年度から平成 26 年度にかけ自然環境保全調査を実施し、その調査結果を基に市内の生物多様性保全に関し市民に分かりやすく啓発するための冊子作成の準備を進めた。
- ・ナガバノイシモチソウ植生調査事業において、ナガバノイシモチソウ調査員により、通年で散水と除草等の環境整備が行われた。また、大規模植生回復作業を行ったことにより、自生個体数が増え、平成 23 年度の約 4 倍になった。

Ⅱ-2. 森林の保全と利用の促進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「森林保育作業の参加者数」は、間伐面積が確保でき、また間伐ボランティアの活動が活性化してきたため、順調に進捗した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・間伐が遅れている人工林に対して補助金を交付し、間伐を進めるとともに、山林対象者に対して森林の除間伐、手入れなど森林管理講座を開催し、管理意識の向上、技術向上を支援した。

Ⅱ-3. 河川・海岸・ため池の保全

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「憩の場を整備したため池数」は、平成 23 年度工事にて、反茂池の憩の場の整備が完了し、目標値に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・干潟再生実験プロジェクトにより、干潟の重要性を学びながら、水辺環境の創出のための基礎調査を行った。また、次のステップとして、平成 26 年度からは干潟保全実践プロジェクトにより、干潟の観察や生物調査、ごみ拾い等により、干潟への理解を深める取り組みを行っている。

Ⅱ-4. 農地の保全

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「環境保全型農業を実践している農家の割合」は、エコファーマーとして愛知県知事の認定を受けることにより、農業改良資金（無利子資金）の貸付けに関する特例を受けられることもあり、順調に進捗した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・ファーマーズマーケットを拠点とした食農教育を進めるとともに、農業団体や地元市場、小売店が連携して行うプロモーション事業を支援した。また、農業団体や学校給食関係者との連携により、地元産農産物の使用頻度が増加した。

Ⅱ-5. 水と緑のネットワークの充実

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「市民 1 人当たりの都市公園面積」は、公園を新設したり、共用部分を拡大したため増加し、目標値に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・新吉保育園や向山保育園、牛川育英幼稚園、高山学園、植田小学校、大村小学校などの園庭・校庭の芝生化を行った。また、多くの園児・保護者の参加のもと、芝生のポット苗の移植作業も実施するなど、学校と地域が一体となって事業を行うことができた。

環境目標Ⅲ

資源を大切にし、循環を基調とする社会環境

基本施策	Ⅲ-1. ごみ減量の推進	Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用
	Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進	
	Ⅲ-3. 環境美化活動の促進	

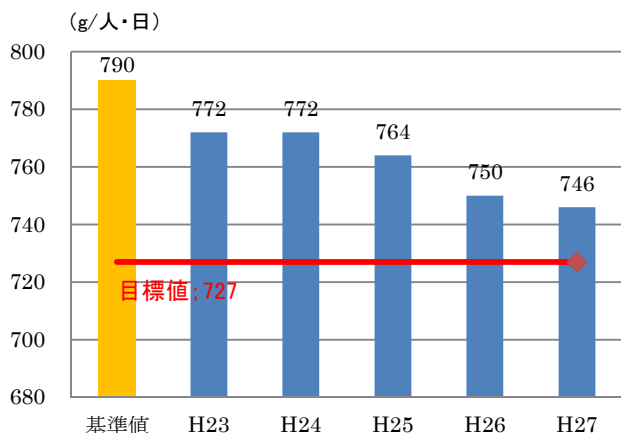
▼目標

廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用及び資源の有効利用を進め、持続的な発展が可能となるよう循環を基調とする社会環境の形成を目指します。

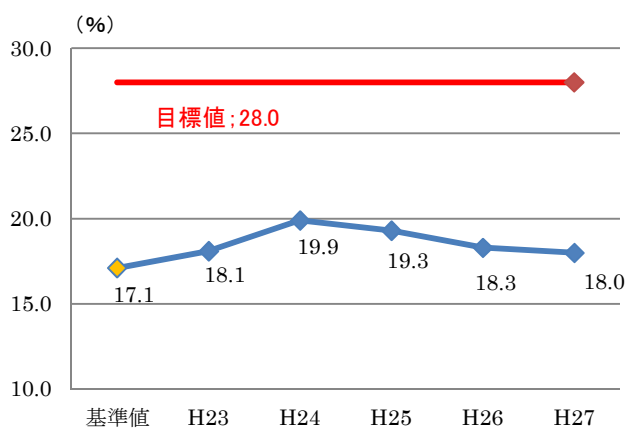
取り組みの目標	基準値	目標値	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況
市民1人が1日出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない。)[g]	790	727	772	772	764	750	746	○
再生家具等の展示・販売会開催数[回]	3	増加	3	3	3	3	3	△
リサイクル率[%]	17.1	28.0	18.4	20.1	19.4	18.3	18.0	△
530運動の参加者数[人]	180,000	増加	175,000	175,000	174,500	175,400	201,000	◎
雨水貯留槽設置補助件数[件]	376	増加	492	567	616	665	699	◎

※進捗状況：◎…進捗率100%以上、○…進捗率50%以上100%未満、△…進捗率50%未満

市民1人が1日出す家庭系ごみの量



リサイクル率



■環境目標Ⅲの総括評価

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

■今後の取り組み

ごみ減量・リサイクルの推進、効率的で環境負荷の低い廃棄物処理を進めるためには、市民・事業者とごみについて問題意識を共有し、連携・協力しながら、効率的・効果的なごみ減量施策に取り組んでいく必要があります。こうしたことから、今後は次のような取り組みを進めていきます。

- ・ごみ減量・リサイクル施策の更なる推進
- ・資源化センターのごみ処理広域化の推進及び施設の更新
- ・生ごみ分別に伴うごみ分別処理体系の見直し
- ・市民・事業者などによる自発的な環境美化活動である530運動の更なる推進
- ・限りある水資源の保全と確保

▼取組状況

Ⅲ-1. ごみ減量の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「市民1人が1日に出す家庭系ごみの量」は、ごみ減量・リサイクルの啓発や指定ごみ袋制度の説明会の開催により、市民のごみ減量意識の高まりがみられ、順調に減少している。

【具体的な取組の実施状況】

- ・環境にやさしい店登録制度では、包装を簡素化したり、リサイクル品の販売をするなど、ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む店舗を「豊橋市ごみ減量リサイクル推進店」として認定しているが、登録店舗数は減少傾向にある。今後は市内事業所へのさらなる制度の周知が必要である。

Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「再生家具等の展示・販売会開催数」については、平成27年度の開催数は増加していないが、11月の展示・販売会では市役所のほかここにも会場とし開催した。また、売却点数については平成21年度と比べ1.7倍に増加している。今後も、再生家具等の展示・販売会を通じて、一層の意識啓発を図る。
- ②「リサイクル率」は、ごみ分別やリサイクルの啓発、剪定枝リサイクル施設の稼働などにより一時は上昇傾向にあったが、全国的な紙の流通量の減少などにより地域資源回収等での古紙回収量が減少したため、伸び悩んでいる。

【具体的な取組の実施状況】

- ・家畜糞尿処理施設の整備事業においては、施設の普及を図るため環境指導等の農家訪問時等に制度の説明を行うことに加え、施設の修繕費に対する補助制度を設け、環境対策に取り組む農家を支援した。
- ・広報とよはしにごみに関する記事をシリーズ化して掲載するとともに、出前講座を積極的に実施するなど、市民の意識啓発に努めた。

Ⅲ-3. 環境美化活動の促進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「530運動の参加者数」は、「環境フェスタ」と同時開催していた「バスの日」がなくなったことにより減少していたが、平成27年度に530運動が40周年を迎えたことにより記念式典等を開催したため、参加者数は大幅に増加した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・530運動40周年を契機に、より多くの人に530運動を知ってもらうため、つつじ柄のごみ袋の制作やホコ天への出展、環境フェスタのイベント内容の充実、環境映像コンテストの開催などにより、一層の環境啓発に努めた。

Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「雨水貯留槽設置補助件数」は、東日本大震災を受けて、緊急時における水確保の重要性への関心がより高まっており目標に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・雨水利用設備を設置してある学校において適切な維持管理を行うとともに、新たに「くすのき特別支援学校」に雨水利用設備を設置した。
- ・総合動植物公園において、園内の処理水を水洗便所や獣舎の洗浄水、植物のかん水として再利用した。

環境目標Ⅳ

健全で快適な生活環境

基本施策	IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止	IV-4. ヒートアイランド対策の推進
	IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全	
	IV-3. ゆとりある生活空間の創出	

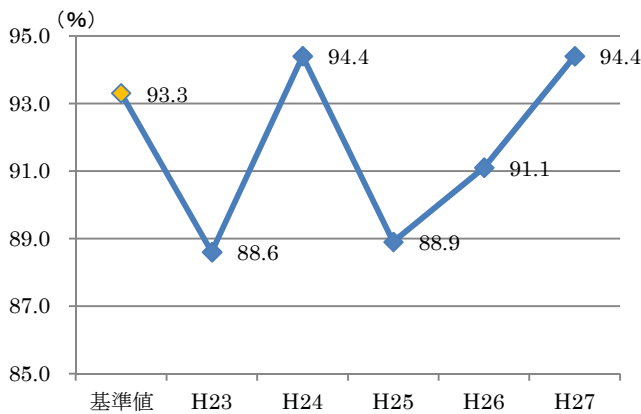
▼目標

大気汚染や騒音・振動、水質汚濁、有害化学物質による汚染などに対する監視や防止対策を進め、私たちの生活環境を保全するとともに、健全で快適なゆとりある生活空間を創出することを目指します。

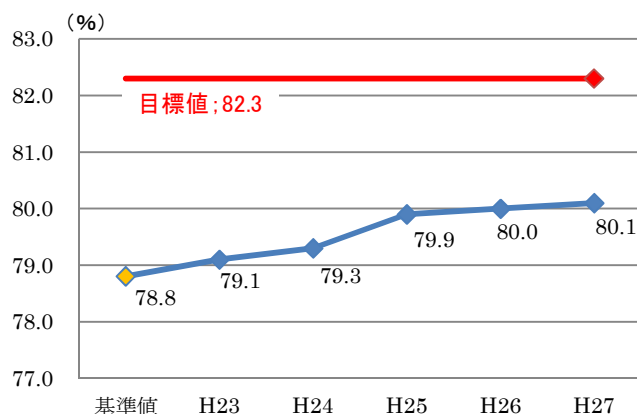
取り組みの目標	基準値	目標値	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況
環境基準達成率（大気） [%]	93.3	増加	88.6	94.4	88.9	91.1	94.4	◎
工場・事業場への大気浄化啓発件数 [件]	54	増加	54	62	70	62	74	◎
環境基準達成率（水質） [%]	90.6	増加	90.6	86.5	89.6	89.6	89.6	△
工場・事業場排水検査件数 [件]	240	増加	213	229	212	117	161	△
下水道普及率 （公共下水道、地域下水道合計） [%]	78.8	82.3	79.1	79.3	79.9	80.0	80.1	△
景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数 [件]	192	増加	228	246	264	283	292	◎
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所]	28	増加	39	118	132	132	128	◎

※進捗状況：◎…進捗率 100%以上、○…進捗率 50%以上 100%未満、△…進捗率 50%未満

環境基準達成率（大気）



下水道普及率（公共下水道、地域下水道合計）



■環境目標Ⅳの総括評価

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

■今後の取り組み

健全で快適なゆとりある生活空間を創出するためには、大気環境・水環境等の保全を進めるとともに、周辺環境と調和した良好な景観形成を推進する必要があります。こうしたことから、今後は次のような取り組みを進めていきます。

- ・ダイオキシン類の発生抑制や有害化学物質の使用抑制・適正管理
- ・河川や海域、地下水などの継続的な水質調査
- ・景観形成地区における景観整備事業の推進
- ・街路樹の整備、公共施設の屋上緑化・壁面緑化などの都市緑化の推進

▼取組状況

IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「環境基準達成率（大気）」は、全地点のオキシダントが環境基準を超過しているが、その他の項目では継続して環境基準を達成している。また平成24年度より測定を開始したPM2.5もすべての測定局で環境基準を達成したため、目標に達した。
- ②「工場・事業場への大気浄化啓発件数」は、立入調査について、調査体制を強化して実施したことにより目標に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・大気汚染、水質汚濁、騒音・振動・悪臭等による公害を防除する施設を設置する事業者に対して設置費の一部を助成する公害防除施設整備事業においては事業者からの助成の希望が無く実績がなかった。
- ・廃棄物の不法焼却を防止するため、指導・啓発を行っているものの、苦情による指導件数は増加した。

IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「環境基準達成率（水質）」については、平成24年度に地下水の測定地点を業務の見直しにより2地点減らしたため、環境基準を達成した地点数の割合は目標を下回った。（未達成地点数は変化なし。）
- ②「工場・事業場排水検査件数」については、効率的な事業場監視指導を行うため、採水を伴う立入検査の規制対象事業場への立入回数を毎年度から隔年度実施に見直し、基準超過している事業場への指導を重点的に実施したため、件数が減少した。
- ③「下水道普及率（公共下水道、地域下水道合計）」は、計画どおり大岩・二川地区および前芝地区等の下水道整備を進めたため増加しているが、目標を下回っている。

【具体的な取組の実施状況】

- ・公共用水域及び地下水の水質監視調査や、地下水等における有害化学物質の調査、ダイオキシン類環境調査等を行うとともに、工場・事業場へ立ち入り、水質・土壌の監視・指導を行うなど、生活環境の保全に努めた。
- ・地域住民の快適かつ良好な生活環境を保全するため、臨海部進出企業等と公害防止協定を締結した。

IV-3. ゆとりある生活空間の創出

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数」は、主に二川宿景観形成地区の建築行為が進んだことから目標に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・土地区画整理事業において、市施行の牟呂坂津地区及び、組合施行の牛川西部地区、柳生川南部地区の3地区で、各事業計画に沿った宅地や道路の整備を行った。
- ・都市公園の整備や街路樹の植栽、老朽街路樹の更新、民有地の緑化へ助成などにより、うるおいのある美しい都市空間の形成を図った。

IV-4. ヒートアイランド対策の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「公共施設における緑のカーテン設置箇所数」は、市の施設へ幅広く呼び掛けを行い、普及を拡大し、設置箇所が増加した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・緑のカーテンの普及啓発事業において、緑のカーテン講習会を引き続き実施するとともに、さくらピアでは、地域とともに実施する点が評価され、環境省のグリーンカーテンプロジェクト2014に取り上げられた。また、学校への緑のカーテンの設置について、児童生徒に緑のカーテンの興味を持たせ、二酸化炭素の削減など地球温暖化についての理解を深めることができた。

環境目標V

環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境

基本施策	V-1. 環境に関する教育啓発の推進	
	V-2. 環境保全活動の推進	
	V-3. 文化の継承と活用	

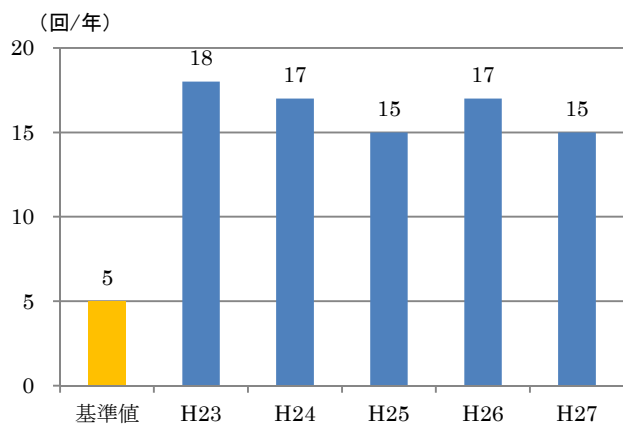
▼目標

環境保全に関する教育や啓発を進めることで、私たち一人ひとりの環境に対する意識を高めるとともに、市民活動などを通じて地域の文化を守り、継承し、自然や将来世代を思いやる知恵をはぐくむ文化環境の形成を目指します。

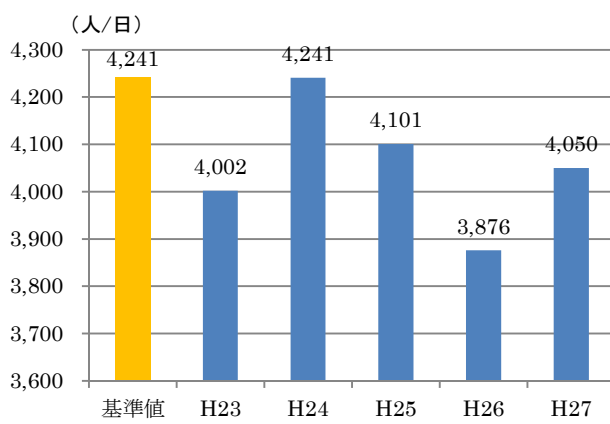
取り組みの目標	基準値	目標値	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回]	5	増加	18	17	15	17	15	◎
環境イベントの参加者数[人]	10,000	増加	5,000	6,000	7,000	7,800	9,300	△
地域資源回収実施団体数[団体]	351	増加	358	357	386	358	382	◎
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人]	61,840	増加	72,903	69,895	56,300	56,944	61,911	◎
教育文化施設1日当たりの利用者数[人]	4,241	増加	4,002	4,241	4,101	3,876	4,050	△

※進捗状況：◎…進捗率100%以上、○…進捗率50%以上100%未満、△…進捗率50%未満

地球温暖化対策出前講座の実施回数



教育文化施設1日当たりの利用者数



■環境目標Vの総括評価

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

■今後の取り組み

身近にある自然や文化を守り、継承する心を醸成するためには、環境保全に関する教育や啓発を進めるとともに、文化財の調査と保存、活用を進めていく必要があります。こうしたことから、今後は次のような取り組みを進めていきます。

- ・あらゆる世代の人に環境について学んでもらえるような環境学習の展開
- ・より多くの市民が環境保全活動に参加できる環境づくりの推進
- ・歴史的遺産や伝統文化等に触れられる機会の提供
- ・郷土への誇りや愛着を育てる郷土学習の推進

▼取組状況

V-1. 環境に関する教育啓発の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「地球温暖化対策出前講座の実施回数」は、学校版の出前講座を開催し、多くの学校からの申し込みがあったことから目標に達した。
- ②「環境イベントの参加者数」は、同時開催の「とよはしバスの日」が平成 22 年度で終了し、「ええじゃないかカーフリーデー」として形を変えて開催しているが、カーフリーデーの参加者数が減少したため、全体として減少した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・木の香る学校づくり推進事業において、5 カ年計画で市内の小学校 6 年生の教室に、東三河産木材を使用した机・椅子を導入し、その他図書閲覧用木製机も導入した。また、説明会や研修を通じて児童や職員らへ森林の役割や環境保全の重要性を伝え啓発を図った。

V-2. 環境保全活動の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「地域資源回収実施団体数」は、奨励金制度を見直すことにより、団体の動機付けを向上させた。複数の町自治会を校区単位でまとめて集計できるようにしたが、従来と同様の集計方法では 382 団体となり、目標に達した。

【具体的な取組の実施状況】

- ・豊橋サイエンスコアとの連携事業においては、平成 25 年度に稼働した高塚町地内の太陽光発電施設の継続的な運用に加え、二川町地内に市民の出資による太陽光発電施設を整備し、H27 年 4 月より稼働した。

V-3. 文化の継承と活用

【取り組みの目標の進捗状況】

- ①「文化財関連イベント・展覧会等の参加者数」は、平成 27 年度に市指定文化財「商家駒屋」がオープンしたことにより、展覧会入場者数が増加したため、目標に達した。
- ②「教育文化施設 1 日当たりの利用者数」は、図書館においてはスマートフォン等の情報メディアの急速な普及により、若年層を中心とした読書離れが進み、図書館利用者が減少した。美術博物館においては、美術博物館の増築工事のため、平成 27 年 12 月に展示室を 1 か月間閉室し、展覧会が開催できなかつたため、入館者数が減少し、目標を達成できなかった。

【具体的な取組の実施状況】

- ・牟呂八幡宮の神事相撲を中心とした神幸祭を市無形民俗文化財に指定するなど新たに市文化財を指定したほか、国登録文化財を 1 件追加した。また、市指定天然記念物「野依八幡社のシダレザクラ」の樹勢回復、県指定有形文化財「花鳥山水図」などの保存修理に補助を行った。
- ・豊橋素人歌舞伎保存会や吉田文楽保存会に対して補助金を助成し、伝統芸能の保存や後継者の育成をするとともに、市指定の無形民俗文化財の保存、振興に努めた。